



1日も早い復旧を目指して

H25.8.22

報道機関に奈良地域の進捗状況を報告！

～紀伊山地砂防事務所～

被災された方々に、一日でも早く安心して暮らしていただけるよう事業の進捗を図っていきます

平成23年9月の台風12号による災害で、紀伊半島の各地では河道閉塞（天然ダム）、大規模斜面崩壊などが多数発生しました。1日も早い復旧を目指し、地域住民・自治体・工事施工者等の方々と一丸となって取り組んだ結果、緊急対策工事については無事完了することができました。現在は砂防堰堤など本格的な対策工事を実施しています。

災害発生からほぼ2年が経過するのを前に、対策工事の進捗状況や今後の整備方針について皆さまに広く知って頂くことを目的とした報道関係者向けの現場見学会を8月21日開催しました。今回は奈良県が施工する箇所を含めた5地区を巡るルートで、猛暑の中、参加者の方々は熱心に現場を見て回り、様々な疑問・質問が寄せられました。

<開催日>

平成25年8月21日（水）

<参加者>

新聞社8社、テレビ放送局2社

<見学箇所>

北股地区（国・奈良県）→ 辻堂地区（奈良県）→ 赤谷地区（国）→ 長殿地区（国）→ 宇井・清水地区（奈良県）



北股地区



赤谷地区



長殿地区

インタビューに答える
副所長



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）



見学会ではこんな質問が…



対策工事を行う上で苦労していることは何ですか？



大雨により現地形状が変わり手戻りが生じることもあり、苦労の連続ですが、一日も早く対策が完成するよう進めて参ります。



今後、台風期を迎えるにあたり対策・課題等がありますか？



今進めている砂防堰堤をいかに早く完成させるかが課題です。引き続き関係者の方々の協力を頂きながら工事を実施します。



1日も早い復旧を目指して

H25.8.27

報道機関に和歌山県域の進捗状況を報告！

～紀伊山地砂防事務所～

被災された方々に、一日でも早く安心して暮らしていただけるよう事業の進捗を図っていきます

平成23年9月の台風12号による災害で、紀伊半島の各地では河道閉塞（天然ダム）、大規模斜面崩壊などが多数発生しました。1日も早い復旧を目指し、地域住民・自治体・工事施工者等の方々と一丸となって取り組んだ結果、緊急対策工事については無事完了することができました。現在は砂防堰堤など本格的な対策工事を実施しています。

災害発生からほぼ2年が経過するのを前に、対策工事の進捗状況や今後の整備方針について皆さまに広く知って頂くことを目的とした報道関係者向けの現場見学会を8月26日開催しました。今回は国土交通省が施工する和歌山県域2地区を巡るルートで、雨の降るあいにくの空模様でしたが参加者の方々は熱心に現場を見て回り、様々な疑問・質問が寄せられました。

<開催日>

平成25年8月26日(月)

<参加者>

新聞社5社、テレビ放送局3社

<見学箇所>

田辺市本宮行政局(集合・概要説明) →
三越地区 → 熊野地区 →
田辺市本宮行政局(解散)

事業の概要説明



現地見学(三越地区)



現地見学(熊野地区)



インタビューに答える
建設監督官



見学会ではこんな質問が…

Q

これから台風シーズンを迎えますがどのように対策工事を進めていけますか？

A

現場はまだ安心な状態とは言えないのが現状ですので、出水で変状があっても手戻りが生じないように対策を進めていきます。

Q

率直な感想として、現場の対策は順調に進んでいると言えますか？

A

被災直後から途切れることなく対策工事を進めておりますので着実に前進していると実感しております。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111 (代)

